

MITSUBISHI

三菱電機リモート式圧縮ユニット別売部品

オプションパネル(NP-V185A)の取付要領

対応機種：ECV-EP150・185(M), EC-EP225

⚠警告

据付けは、工事説明書にしたがって確実に行う。

- 据付けに不備があると、冷媒漏れや火災・感電・水漏れの原因になります。

電気工事業者によるD種(第3種)接地工事を行う。

- アースが不完全な場合は感電事故の原因になります。

配線は、所定の配線を使用して確実に接続し、端子台接続部に接続電線の外力が、伝わらないように確実に固定する。

- 接続や固定に不備があると発熱・火災の原因になります。

安全装置・保護装置の設定値は変更しない。

- 設定値を変えると、ユニットの破裂・発火の原因になります。

気密試験は確実に行う。

- 冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。

冷媒漏れ時の限界濃度対策は確実に。

- 屋内や冷蔵庫へ据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。そのような場所に入る場合は、換気を十分に確認してから、入室してください。限界濃度を超えない対策については、弊社代理店と相談して据付けてください。万一冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。ガス漏れ検知器の設置をおすすめします。

据付けは、重量に十分に耐えうる所に確実に行う。

- 強度の不十分な所に据付けると、ユニットの転倒落下により、ケガの原因になります。

電気工事は「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。

- 電源回路容量不足や施工不備があると、端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

ユニットの端子台カバー(パネル)を確実に取付ける。

- 端子台カバー(パネル)の取付けに不備があると、端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

冷凍サイクル内に指定冷媒以外の冷媒や空気などを混入させない。

- 混入すると冷凍サイクルが異常高温となり破裂・ケガの原因になります。

冷媒回路サービス時は、換気を十分に行う。

- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気してください。冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

冷媒ガスの漏れチェックは確実に。

- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが機械室内や冷蔵庫内に漏れ火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

保護装置を短絡して、強制的な運転をさせない。

- 短絡して強制的な運転を行うと、ユニットの火災や爆発の原因になります。

安全のために必ず守ること

- ご使用前にこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

⚠注意

誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

- お読みになったあとは、取扱説明書とともにいつでも見られる場所に必ず保管し、移設時に読み直してください。

⚠注意

漏電遮断器を取付ける

- 漏電遮断器が付けられていないと、感電の原因になります。漏電遮断器は、ユニット1台につき1個設置してください。

排水工事を確実に行う。

- 雨水・除霜水などが屋内に侵入し、周囲を濡らす原因になります。

換気を行う。

- 万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。

仕様の範囲内で冷凍サイクルを製作する。

- 仕様を逸脱して冷凍サイクルを作ると、破裂・発煙・発火・漏電の原因になります。

ヒューズ交換時は、指定容量のヒューズを使用する。

- 針金や銅線を使用すると火災の原因になります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に据付けない。

- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。

サービスバルブ操作時は、冷媒噴出に注意する。

- サービスバルブ操作時は、冷媒が噴出します。このとき、冷媒を浴びたり、裸火に冷媒ガスが触れると、ケガの原因になります。

ファンおよび板金エッジ部に直接手で触れないでください。

- 手を触れるとケガの原因になります。

必ず、裏面もお読みください。

WT04545X02

MITSUBISHI

三菱電機リモート式圧縮ユニット別売部品 オプションパネル (NP-V185A) 取付要領

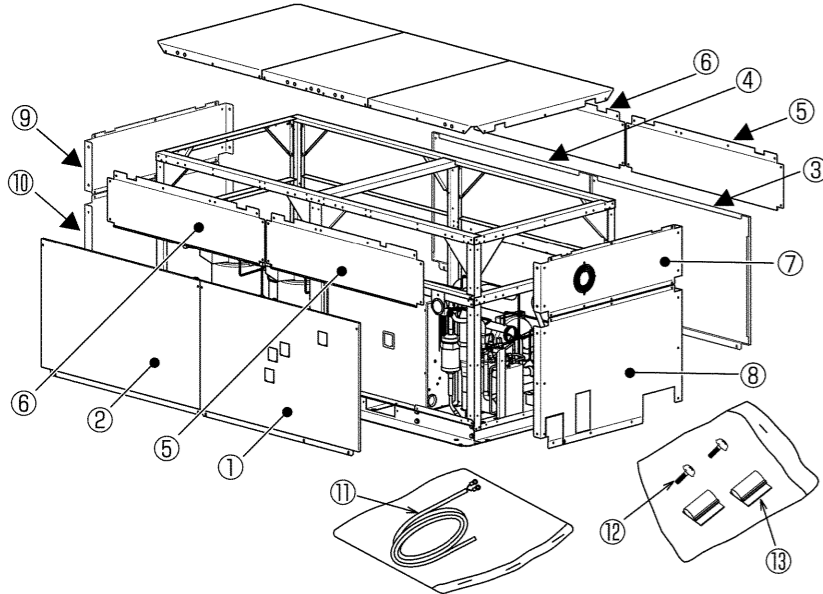
対応機種：ECV-EP150・185(M), EC-EP225

本取付要領書は、ECV-EP185Aを代表して説明していますので、EC-EP225に使用される場合は絵が若干異なります。

1. オプションパネルの構成部品

オプションパネルは、次の部品から構成されています。

品名	内容数
① 右フロントパネル	1
② 左フロントパネル	1
③ 右背面パネル	1
④ 左背面パネル	1
⑤ 右上上面パネル	2
⑥ 左上上面パネル	2
⑦ 右上サイドパネル	1
⑧ 右下サイドパネル	1
⑨ 左上サイドパネル	1
⑩ 左下サイドパネル	1
⑪ 換気ファン用配線	1
⑫ パネル固定ネジ(M5×12)	98 (予備5個含む)
⑬ 配線固定クランプ	4



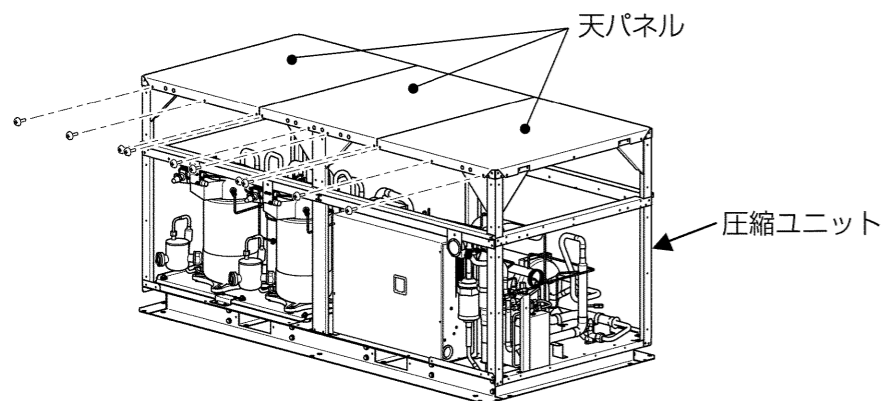
2. オプションパネル取付要領

オプションパネルは、次の要領で取付けてください。

(1) 圧縮ユニットに取付けられている 天パネル (3枚) を取外します。

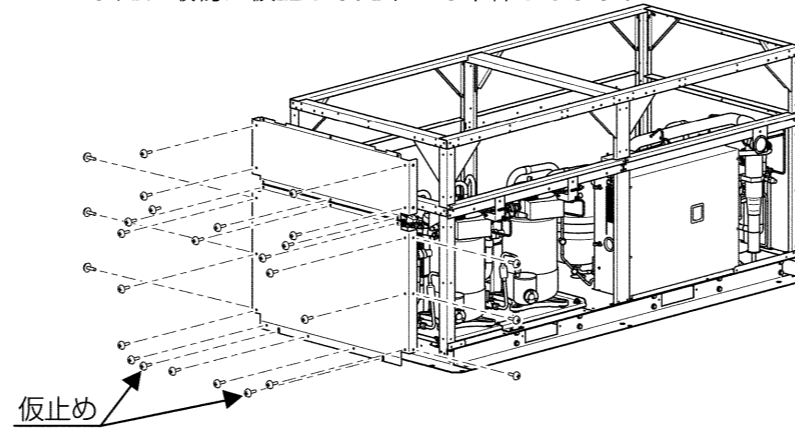
・ユニット前後の10×2箇所ネジを取外すと天パネルが取外せます。

下図に示す箇所のネジを取外し天パネルを外します。(背面側も同様の位置のネジを外します。)



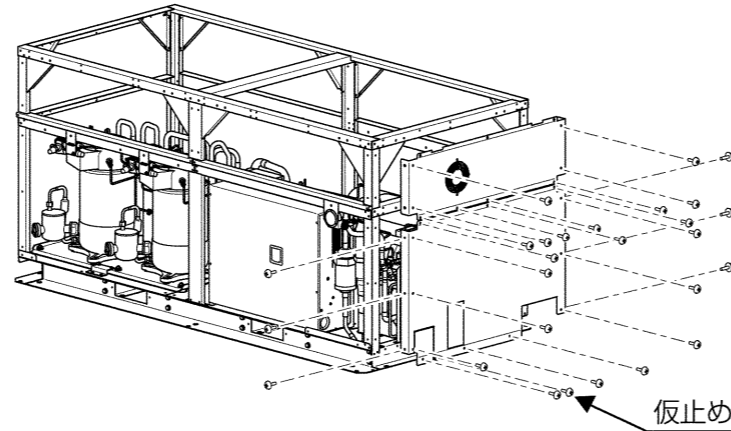
(2) 左上 (下) サイドパネルを取付けます。

- 本体にネジを2箇所仮止めします。
- 左上 (下) サイドパネルを取付け、25箇所ネジ止めします。また、最初に仮止めしたネジも本締めします。

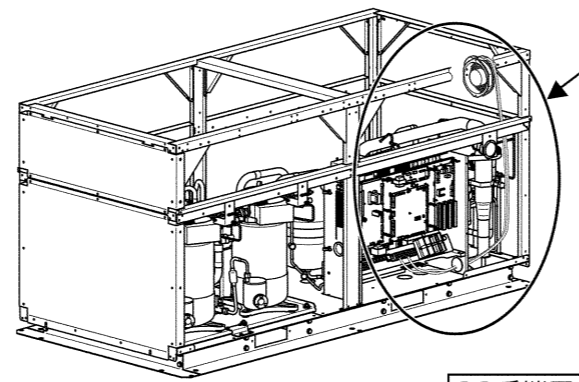


(3) 右上 (下) サイドパネルを取付けます。

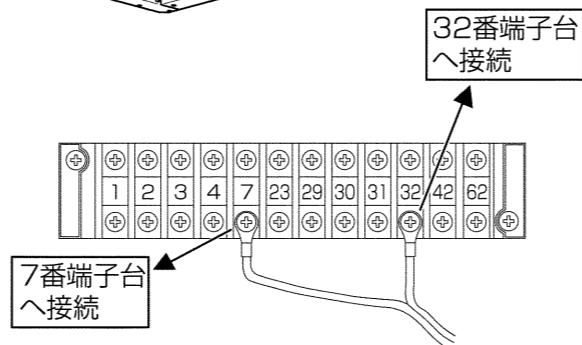
- 本体にネジを1箇所仮止めします。
- 右上 (下) サイドパネルを取付け、26箇所ネジ止めします。また、最初に仮止めしたネジも本締めします。



(4) 右上サイドパネルに付いている換気ファンに換気ファン用配線を接続します。

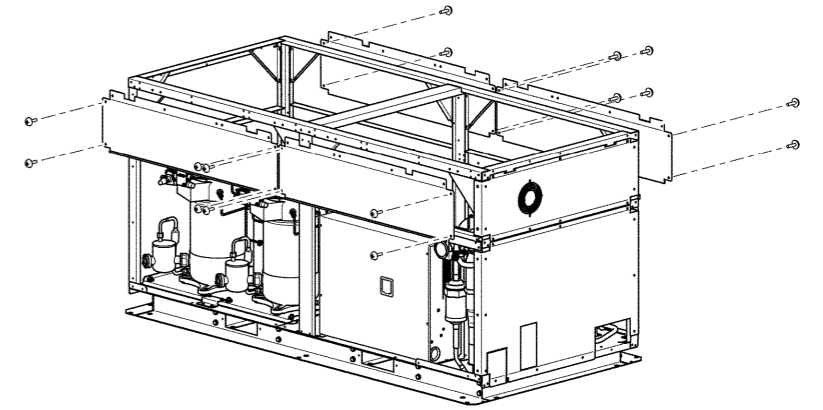


- 左図のとおり換気ファンと付属の配線を接続します。
- 配線は付属のクランプを使用して制御ボックス内へ導入します。
 ⚠ 配線は高温となる配管 (吐出配管および液配管) および板金エッジ部と接触しないような経路で配線願います。
 ⚠ 制御ボックス内へ配線を導入する際はトラップ等設け、水が制御ボックス内に伝わらないようにしてください。
- 配線は制御ボックス内の制御端子台7番と32番に接続します。



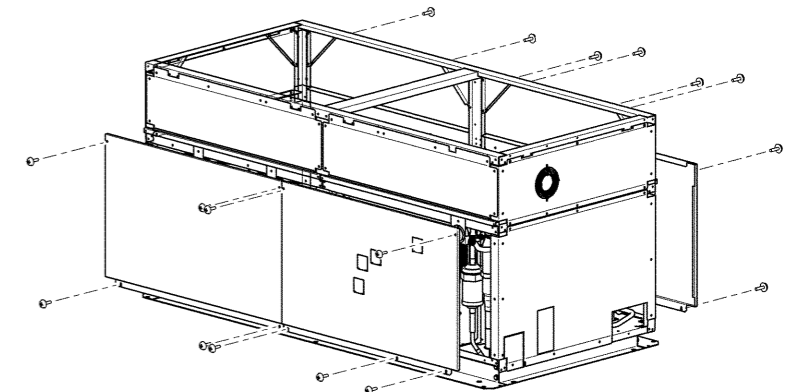
(5) 右 (左) 上面パネルをユニット前後に取付けます。

- ・右 (左) 上面パネルを取付け、8箇所ネジ止めします。



(6) 右 (左) フロントパネル・右 (左) 背面パネルをユニット前後に取付けます。

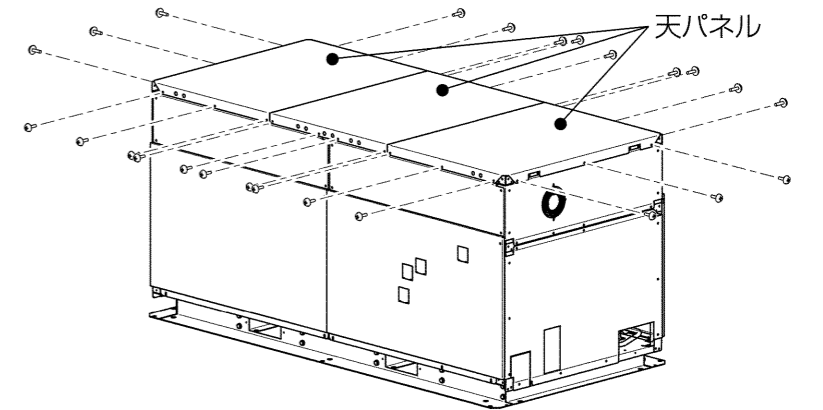
- ・右 (左) フロントパネルを取付け、9箇所ネジ止めします。
- ・右 (左) 背面パネルを取付け、8箇所ネジ止めします。



※右フロントパネルには、圧力ゲージ等が見えるように窓が付いています。
 ※左フロントパネルと左背面パネルは共通パネルです。

(7) 取外した天パネルを取付けます。

- ・天パネルはサイド・上面パネルの外側になるように被せ前後6×2箇所および側面3×3箇所をネジ止めします。



必ず、裏面もお読みください。

WT04545X02